

春・・・お家の汚れが目立つ季節！

セスキ炭酸ソーダ

・・・でお掃除を！

水に溶けやすい「セスキ炭酸ソーダ」は、重曹と炭酸ソーダを半々に混ぜ結晶化して両方の良い特性を持たせたものです。

弱アルカリ性（pH9.8）で非常に水に溶けやすく、汚れのほとんどが「酸」なので、重曹より落ち易いです。（重曹は pH8.2）。油や皮脂、手垢といった酸性の汚れへの洗浄力の強さは抜群です。セスキは水に入れてすぐに溶けるため、とっても使い勝手が楽です。お掃除やお洗濯に、お試しください。



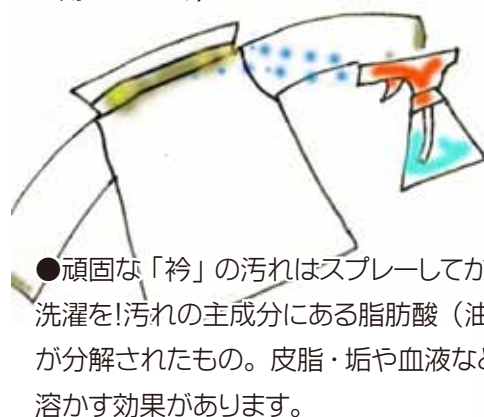
●使い方は、これが一番簡単～!!! スプレーで使ってみましょう！
1%の濃度になるようにセスキを水に溶かし、タオルやぞうきんにシュッとスプレーして拭くだけ。たったこれだけで家の中のあらゆる場所をきれいにします。

■セスキ炭酸ソーダの使い方

●お洗濯にも！アルカリ性で脂肪酸を溶かし落とします。（脂肪酸とは、油脂が分解されたもの。）水に溶けやすいので、洗剤の代わりに洗濯機の水 30 リットルに小さじ 2 杯～大さじ 1 を加えます、アルカリで汚れを落とすので泡は立ちませんが良く落ち、すすぎも 1 回で済み経済的です。
※全自動洗濯機の黒かび汚れを落とします。（2～3 回に 1 度のサイクルで、セスキだけのお洗濯をお勧めします。）



●浴槽や洗面器、お風呂周りの湯垢が特に良く落ちます。



●頑固な「衿」の汚れはスプレーしてから、洗濯を！汚れの主成分にある脂肪酸（油脂が分解されたもの。皮脂・垢や血液など）溶かす効果があります。



●すすぎ水に残ったアルカリが気になるときは、最終すすぎ時にクエン酸を少量入れても良いでしょう。

●セスキを溶かした液に、血液で汚れた衣類（布ナプキンなど）を数時間浸け置くときれいになります。



●セスキ炭酸ソーダ
300g・・・324 円



●拭き掃除に（水5リットルに対して、炭酸ソーダ大さじ半分をいれて、その水に雑巾などを浸して汚れた箇所を拭き掃除します。
この液をスプレー容器に入れても使いやすいでしょう。

※注意!!
基本のスプレー液よりも濃度を薄くします。汚れによって濃度を変えることもできますが、あまり濃くすると家具の塗料などが剥げることがあります。塗りが施された場所や高価な家具類には、あらかじめ目立たないところで試し拭きをしてみましょう。白木にはシミになることがあるので使わないでください。



●布巾も付け置き洗い。アルカリ成分ですっきり白くなります。泡がないのです。すすぎも楽。すすぎの時にクエン酸をほんの少し入れてすすいでください。



セスキが使えない素材もあります。ご注意ください！
●畳・絹素材（黄色く変色します）
●アルミ（黒く変色します）
●白木など木質系の素材



●ステンレスの曇りとりは、水3リットルに大さじ1杯のセスキ炭酸ソーダを溶かし、ステンレス製のザルや茶こし、カトラリー類を入れて漬けておきます。その後ブラシでこするとピカピカに。
※アルミ製品はアルカリで黒ずむ性質があるのでこの方法はおすすめしません。



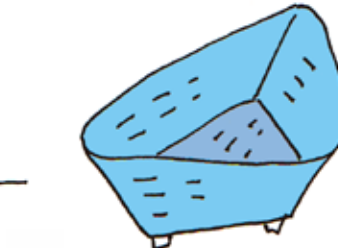
●ガスレンジ周りや、レンジフード、冷蔵庫など頑固な油汚れにスプレーし、しばらく置いて拭き取ります。



●窓ガラスや鏡も、セスキ炭酸スプレーを吹きかけて、雑巾でふきとると驚くほどキレイになります。窓の枚数が多い場合はスクイジーなどを使うと楽ですよ。



●シンク・排水口・三角コーナーのぬめりにスプレーして、数分置きスポンジでこすります。
消臭効果で臭いを中和消臭します。



●お弁当箱などのプラスチック製品のべたつきや臭いにも、セスキ洗浄スプレーをしてから洗うと効果的です。

●銅のこげ落とし、トイレの便器研ぎや流しの研ぎの必要なところは・・・研磨力のある「重曹」をお使いください。